

まちづくり新聞 笛吹版 Vol.11

歴史と温泉とフルーツのまち 2021年4月号

発行;まちの不動産 水平リーベ(同) 樋口滝人(ひぐち たきひと)
☎070-5565-4562
✉: suihei-libe@eos.ocn.ne.jp



首長の判断で特徴あるコロナ対策 支援先に違い!

笛吹市では コロナ感染症で厳しい経営状態の市内旅館・ホテルに昨年到现在第2弾の宿泊料金の割引を期間限定で実施します。また、市長に直接、その窮状を訴えて功を奏した結果、芸妓、コンパニオンの皆さんをお座敷、飲み会にお呼びすると一人あたり市が5,000円を負担します。宿泊客の負担が減少し、しかも安く泊まれて芸妓さんもお座敷に出る回数も格段に増えます。合計1億5千万円を市の財政から支出します。また笛吹市ではすでに中小零細の2900事業者に一律10万円、合計2億9千万円を支給しています。



甲斐市では コロナ感染症で精神的にも体力的にも大きな負担を強いられた医療・介護・障がい者支援関係の1万1千人にひとり10,000円、合計1億1千万円の支給を決定しました。甲斐市ではすでに、住民ひとりひとりに10,000円の商品券とユニクロのマスク、折り畳み買物袋を支給しています。



富士吉田市では 住民ひとりひとりに合計25,000円の現金、商品券を配布。

山中湖村では 住民ひとりひとりに10万円を支給。

甲府市では 笛吹市や中央市と同じく市民に商品券等の配布はありません

まちづくり新聞 笛吹版 Vol.11 2021年4月

発行:まちの不動産 水平リーベ(同) 樋口滝人

☎070-5565-4562 ✉suihei-libe@eos.ocn.ne.jp



ふるさと納税 (令和2年4月1日~令和3年3月31日) 14億4百万円を集めました!

3年間のふるさと納税額 比較表 2年間で顕著な伸びを示しています。

年 度	納 税 額	前年度比 増加率
平成30年度(2018.4.1~2019.3.31)	1億7,513万8,056円	—
令和1年度(2019.4.1~2020.3.31)	2億3,978万1,370円	137% (1.37倍)
令和2年度(2020.4.1~2021.3.31)	14億400万 円	585% (5.8倍)

笛吹市では市長はじめ担当課のたゆまぬ努力や工夫で日本中の皆様から笛吹市へ応援を込めて多額の納税をいただきました。

返礼品代や「楽天市場」、「ふるなび」などへの掲載手数料でほぼ半分が支払われることから 令和3年度にはおよそ7億円が市の財政に組み込まれます。

県内では35億円の富士吉田市に続き2番目で甲府市の13億円が続きます。コロナ禍で税収が落ち込む懸念から大いに期待できます。市の経営に本気(コミット)を出してきた証左といえます。これからも都市間競争に打ち勝つよう尽力を期待します。



可燃ごみ袋 料金改定を先延ばし

市長が選挙中、市民の声に押されて可燃ごみ袋の料金改定を公約しましたが、これを検討し、審議する「廃棄物審議会(市民代表者など10名で構成)」が本年度1度も開催されていないのは どうしてなんだろう。

今年2月の議会で令和3年度予算審議でもこの話題は上らずに、改定は見送られた。したがって、改定があるとしても補正予算で計上する以外は 早くても来年度以降になりそうだ。

市民が支払うごみ袋の代金は年間で8200万円。ごみ袋代300円を150円(原価は125円)の半額にすると、

4100万円の市の収入減になる。

これを 上記のふるさと納税の収入で

カバーできるはず。要は市長が英断を下せばすぐにでも

値段が下がる話。

